注3

大学番号:国046

[平成29年度設置]

計画の区分: 学部の学科の設置

注1

事前伺い

愛知教育大学 教育学部 教育支援専門職養成課程 ^{注2}

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人愛知教育大学 平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 企画課

カカリチョウ マッモトノリェ 職名・氏名 係長 松本典江

電話番号 0566-26-2118

(夜間) 0566-26-2111

F A X 0566-95-0035

e — mail kaikaku@m. auecc. aichi-edu. ac. jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

- ()書きにて、現在の名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

• 学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」

• 大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」

・通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

教育学部

<剶	な育支援専門職養成課程> ペープログラス ペース ペース かんしゅう かんしゅ かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅん しゅんしゅ かんしゅん しゅんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅ しゅんしゅん しゅん	ージ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14
4.	AC対象学部等を含む大学等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・	15
5.	教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16
6.	留意事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	27
7	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	28

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 愛知教育大学

- (2) 大 学 名 愛知教育**大**学
- (3) 大学の位置

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変更状況	備考
学長	(ゴトウ ヒトミ) 後藤 ひとみ (平成26年4月1日)		
理事・副学長	(ナカダ トシオ) 中田 敏夫 (平成26年4月1日)		
理事・副学長	(スガヌマ ノリオ) 菅沼 教生 (平成26年4月1日)		
理事・副学長	(ニシブチ シゲオ) 西淵 茂男 (平成29年4月1日)		
理事・副学長・事務局長	(カミグチ タカユキ) 上口 孝之 (平成28年4月1日)		
学系長 (教育科学 系)	(ソブエ ノリヒト) 祖父江 典人 (平成28年4月1日)	(ヨシオカ ツネオ) 吉岡 恒生 (平成30年4月1日)	任期満了による 平成30年4月1日 (30)

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 平成29年度に報告済の内容 → (29) 平成30年度に報告する内容 → (30)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表 を追加してください。
 - ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) 一① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	1
	教育学・保育	年	人	年次	人	
教育学部	学関係	4	130	人	520	
教育支援専門職養成課程						
学士 (教育学)						

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平均入学定員	備考
区分	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	超 過 率	N⊞ √⊃
A 入学定員	(-) [-]	(-) [-]	入 人 130 (-) [-]	130 (-) [-]		
志願者数	(-)(-)	(-)(-)	525 (-) (-) [-] [-]	584 (-) (-) [5] [-]		
受験者数	(-) (-) [-] [-]	(-)(-)	327 (-) (-) [-] [-]	368 (-) (-) [3] [-]	1.03倍	
合格者数	(-) (-) [-] [-]	(-)(-)	144 (-) (-) [-] [-]	146 (-) (-) [1] [-]		
B 入学者数	(-) (-) [-] [-]	(-)(-)	138 (-) (-) [-] [-]	132 (-) (-) [1] [-]		
入学定員超過率 B/A	_	_	1.06	1. 01		

- (注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ ()内には、編入学の状況について<u>外数で</u>記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を 記載してください。
 - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 転入学生は記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成2	7 年度	平成 2	8年度	平成2	9 年度	平成3	0 年度	備	考
学	年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	1)用	有
		_	_	_	_	138	_	132	_		
	1 年次	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[1]	[-]		
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
				_	_	_	_	138	_		
	2年次			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
				(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
						_	_	_	_		
	3年次					[-]	[-]	[-]	[-]		
				_		(-)	(-)	(-)	(-)		
								_	_		
	4 年次							[-]	[-]		
								(-)	(-)		
						13	38		70		
	計	[-	-]	[-	-]	[-	-]	[1]		
		(-	-)	(-	-)	(-	-)	(-	-)		

- (注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分				rh=0		
	在学者数(b)	退学者数(a)		内訳	72. ** ** ** *	主な退学理由
対象年度			入学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数	
平成27年度	- 人	- 人	平成27年度	- 人	- 人	
平成28年度		- 人	平成27年度	- 人	- 人	
平成28年度	_ X		平成28年度	- 人	- 人	
			平成27年度	- 人	- 人	
平成29年度	138 人	0 人	平成28年度	- 人	- 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成27年度	- 人	- 人	
平成30年度	270 人	0 人	平成28年度	- 人	- 人	
十八〇〇千尺	2/0 入		平成29年度	0人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
合 計	408 人	0 人				

- (注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。<u>(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)</u>
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」) により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための 準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

平成29年度の退学者数(a) 平成29年度の在学者数(b)	- =	138	=	0	%
【平成30年度】					
平成30年度の退学者数(a) 平成30年度の在学者数(b)	- =	0 270	=	0	%

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<教育学部 教育支援専門職養成課程>

(1)一① 授業科目表

	出時	_				単位数	数		専任教	教員等	の配置	t
	科目 区分		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助
					修	択	由	授	教授	師	教	手
教			初年次演習	1前	1				2	1	1	
後科												
1	基礎		市民リテラシー	1前~2後		2			1	1		
	教養 科目	an er tan	多文化リテラシー	1前~2後		2			1	1		
١		課題探 究科目	科学リテラシー	1前~2後		2			1	1		
			科子リアフンーものづくりリテラシー	1削~2彼 1前~2後		2						
ł		現代	特別支援教育基礎	1後~3前	2	2						
١		的課	発達障害のある児童生徒理解基礎		2							
ı		題対応科	外国人児童生徒支援教育	1後~3前	2							
١		目	危機管理	1後~3前	2							
١	教師		初年次学校体験活動	1前・1後	1							
ı	教養 科目	ula mis	学校サポート活動 I	2後	2							
		実践 力育	学校サポート活動Ⅱ	3前~4後		1						
١		成科	自然体験活動	3前~4後		1						
١		目	多文化体験活動	3前~4後		1						
١			企業体験活動	3前~4後		1						
Ħ	1本国	憲法	日本国憲法	1前・1後	2							
j	報教育	 八門	情報教育入門	1前	2							
	英	語	英語I	1前	1			1			1	
ŀ	初	1	英語 II ドイツ語 I	2後 1後	1	1		1				
	習	ドイツ語	ドイツ語Ⅱ	2前		1						
	外国	フラン	フランス語 I	1後		1						
I	語	ス語		2前		1						
I	科目	中国語	中国語 I	1後		1						
I		.1.15380	中国語Ⅱ	2前		1						
ı		ポルト	ポルトガル語 I	1後		1						
ŀ		ガル語	14.0.1.04.0. BILL 11	2前		1		١.				
ı	英語	コミュニ ション	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	1後2前	1			1 2			1	
1			スポーツI	1前・1後	1	-						
	ポーツ	'科目	スポーツⅡ	2前・2後	1							
			小計 (31 科目)	-	22	20	0	2	4	3	2	0
I		日教	教育学概論	1前	2				1			
	課程	育	教育原理	1 前	2				1			
	内	学基	教育心理学	1前	2			1				
ı	共通	礎科	教育経営学	1前	2 2			1				
ı	科	4·T	生涯学習概論 教育支援と心理	1後 1前	2			1				
	目	教	教育支援と福祉	1前	2			1		1		
ı		育支	教育支援と教育ガバナンス	1前	2			1				
ı		援	生涯発達心理学	1後		2				1		
ı		科目	学校と家族	1後		2		١.	1			
			教育と人間関係論心と身体	1後 1後		2 2		1				
			社会学概論	1後		2		1				
ı			社会福祉原論 I	1後		2						
			児童·家庭福祉論	1後		2				1		
			地域福祉論	1後		2			1			
I			子ども法入門 グローバル文化・社会論	1後 1後		2 2		1			1	
ı			ジェンダー史入門	1後		2		1	1			
			情報セキュリティと情報モラル	1後		2						
l			小計(20科目)	-	16	24	0	6	5	2	1	0
	心		心理学概論	2前		2			1	1		
ı	理	開	青年心理学	2前		2				1		
	1	理を	認知心理学 乳幼児心理学	2前 2前	ĺ	2 2		Ĭ				
ļ	ス	理解	乳切光心理子 児童思春期の心理	2後	ĺ	2		1				
	専攻	ナ	思考心理学	2後		2						
	攻科	科目	言語心理学	2後		2						
	- 11	群	心理学統計法	3前		2			1			
	Ħ		心理学研究法 パーソナリティ論	3後 3後	2	2		١.	1			
	B		ハーフリッフィ曲	3前	2	2		1				
	目	科方学	教育評価			2						
	目	科方学 目法を現		3前						1		
	目	目法校	教授心理学院が心里(孝)心理学			2						
		・ 技 を 理解す す	教授心理学 障がい児(者)心理学 教育相談論	3前 3後 3後		2			1			
	:目	日群 接現場の教育	教授心理学 障がい児(者)心理学 教育相談論 キャリアデザイン	3前 3後 3後 4前		2 2		0		0		
	.: 目	目群 と	教授心理学 障がい児(者)心理学 教育相談論 キャリアデザイン 臨床心理学概論	3前 3後 3後 4前 2前	2	2		3	2	2		
	:E	目群 出来する 心	教授心理学 障がい児(者)心理学 教育相談論 キャリアデザイン	3前 3後 3後 4前	2	2 2		3		2		
	.≡	法を理解する 心理臨床を理 校現場の教育	教授心理学 障がい児(者)心理学 教育相談論 キャリアデザイン 臨床心理学概論 教育臨床学	3前 3後 3後 4前 2前 2後	2 2	2 2 2						
	:目	目群 ・校現場の教育 ・校現場の教育	教授心理学 験が、児(者)心理学 教育相談論 キャリアデザイン 臨床心理学概論 教育額床学 子どもの心理療法 テーム支援論 地域と家族	3前 3後 3前後後前 4前 2 3前 3前 3 3 3 3		2 2 2 2			2			
	. 目	目群 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	教授心理学 障が、児(者) 心理学 教育相談論 キャリアデザイン 臨床心理学概論 教育部床学 子どもの心理療法 チーム支援論	3前 3後 3後 4前 2前 2後 3前 3前		2 2 2			2			
	. 目	目群 心理臨床を理解する 心理臨床を理解する	教授心理学 験が、児(者)心理学 教育相談論 キャリアデザイン 臨床心理学概論 教育額床学 子どもの心理療法 テーム支援論 地域と家族	3前 3後 3前後後前 4前 2 3前 3前 3 3 3 3		2 2 2 2			2			
	目	目群 ・校現場の教育 ・心理臨床を理解する科目	教授心理学 験が、児(者)心理学 教育相談論 キャリアデザイン 臨床心理学概論 教育額床学 子どもの心理療法 テーム支援論 地域と家族	3前 3後 3前後後前 4前 2 3前 3前 3 3 3 3		2 2 2 2			2			
	III	目群 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	教授心理学 験が、児(者)心理学 教育相談論 キャリアデザイン 臨床心理学概論 教育額床学 子どもの心理療法 テーム支援論 地域と家族	3前 3後 3前後後前 4前 2 3前 3前 3 3 3 3		2 2 2 2			2			
	. 目	目群 ・ ・ はを理解する ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	教授心理学 障が、児(者)心理学 教育相談論 キャリアデザイン 臨床の理学概論 教育臨床学 子どもの心理療法 チーム支援論 地域と家族 スクールカウンセリング概論 落学概論 精神医学概論	3 前 3 後後 4 前 2 前 3 前 3 前 3 前 4 前	2	2 2 2 2 2 2			2			
	. 目	目群 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	教授心理学 験が、児(者)心理学 教育相談論 キャリアデザイン 臨床心理学概論 教育協床学 チーム支援論 地域と家族 スクールカウンセリング概論 医学概論 精神医学帳論 医療心理学	3 前 3 後後 4 前前 2 後前 3 前後 4 前 2 前前 2 前前 2 前前 2 前前 2 前前	2	2 2 2 2 2 2 2 2			2	1		
	. 田	目群 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	教授心理学 障が、児(者)心理学 教育相談論 キャリアデザイン 臨床の理学概論 教育臨床学 子どもの心理療法 チーム支援論 地域と家族 スクールカウンセリング概論 落学概論 精神医学概論	3 前 3 後後 4 前 2 前 3 前 3 前 3 前 4 前	2	2 2 2 2 2 2 2 2		1	2			

					単位数	ţ		専任教	女員等(の配置									単位数	ķ		専任教	な 員等 (の配置		
科目区分		授業科目の名称	配当年次	必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	備考		科目区分		授業科目の名称	配当年次	必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	備考
(心理コース専攻科目)	心理学の知識技能を学ぶ科目群	心理学基礎実験実習 I 心理学基礎実験実習 I 心理検查実習 II 心理檢查実習 II 心理面接実習 I 心理面接実習 I 心理面接实 I 心理压床;实践領域実習 I 心理臨床;实践領域実習 I 心理臨床;实践職能論數育臨床心理学演習 I 數育支援心理演習 II 數有支援心理演習 II	2前後前後前後前後前後前後前後 333333333 34前後 4後		1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2		1 1 1 3 3 3 3 3 3	1 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2			兼2 兼2	(専門教育科目)	(心理コース専攻科目)	心理学の知識技能を学ぶ科目群	心理学実験I 心理学実験II 心理的アセスメント I 心理的アセスメントII 心理的アセスメントIII 心理実習 I 心理実習 I 公配心理師の職責 心理演習 教育協床心理学演習 教育支援心理演習 I 教育支援心理演習 I	2前 2後 2前 2後 2後 3前 3後 3後 3後 4前 4後	1 1	1 1 1 2 2 2 1 2 2 2 2 2 2		1 1 2 4 4 1 2 3 3 3	1 1 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1		
福祉コース専攻	群 人間を理解する科目	小計(40 科目) 心理学概論 精神保健論 心と身体の理解 医学概論 力ウンセリング心理学	2前 2前 2後 2後 2後 2後	2	62 2 2 2 2 2	0	3	2	1	0	0	兼1 兼1 兼1	•	福祉コース専攻	群の世解する科目	小計(37科目) 心理学報論 特神保健論 心と身体の理解 医学概論 介護機論 カウンセリング心理学	2前 2前 2前 2後 2後 2後 2後 2後	2	2 2 2 2 2	0	1	2	1	1	0	兼1 兼1 兼1 兼1
攻科目	生活を理解する科目群 ソーシャルワーク科目群	公的扶助論 障害者福祉論 就労支援論 社会調査論 I 司法福祉論 I 司法福祉論 II 司法福祉論 權利擁護と成年後見 保健医療論 I ソーシャルワーク総論 I ソーシャルワーク演習 I ソーシャルワーク [ソーシャルワーク [ソーシャルワーク [ソーシャルワーク [2 前前前前前後後後前前前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後	2 2 2	2 2 2 1 2 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1	1 1 1 2 2 2 2	1	1		粮 粮 粮 粮 粮 粮 粮 粮 粮 粮 粮 粮 粮 粮 粮 粮 粮 粮 粮		攻科目	生活を理解する科目群 ソーシャルワーク科目群	公的扶助論 障害者福祉論 就労支援論 社会調査論 I 司法福祉論 就労支援論 社会調查論 I 司法福祉論 權利維護と成年後見 保健医療論 I ソーシャルワーク酸論 I ソーシャルワーク フーシャルワーク フーシャルワーク リーシャルワーク リーシャルワーク I ソーシャルワーク I ソーシャルワーク 国 II ソーシャルワーク 国 T 国 II リーシャルワーク 国 T 国 II リーシャルワーク 国 II リーシャルワーク 国 T 国 II リーシャルワーク 国 II リーシャルワーク IV IV IV IV IV IV IV I	2前前前後後後前前前前後前後前前前後前後前前前後後後後前前 2後後前前前後前後前後前前前前後前前前後	2 2 2	2 2 2 1 2 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1	1		兼
	学校福祉科目群 电域福祉基盤整備科	福祉心理論 教育相談論 スクールソーシャルワーク論 スクールソーシャルワーク実習指導 スクールソーシャルワーク実習 カウンセリング心理学演習 教育支援人材福祉特論 II 教育支援人材福祉特論 II 社会保障論 II 社会保障論 II コミュニティーワーク コミュニティーワーク 福祉行財政と福祉計画 福祉運営管理論 福祉行財政と福祉計画	4前前後前後後後前後後後 3334後後 4664	2 1	2 2 1 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			2 2 2 1 1	1 1 1 2 2 1 2 2 2 2 2 2			兼1 兼1			学校福祉科目群 电域福祉基盤整備科	福祉心理論 スクールソーシャルワーク論 スクールソーシャルワーク演習 スクールソーシャルワーク実習指導 スクールソーシャルワーク実習 カウンセリング心理学演習 教育支援人材福祉特論 II 教育支援人材福祉特論 II 社会保障論 II 土会保障論 II エミュニティーワーク コミュニティーワーク 福祉行財政と福祉計画 福祉理賞管理論	2後 3前後前 4前前前 4前前 4前後 4 2 3 3 3 6 4 6 4 6 4 6 4 6 7 8 8 8 8 8 9 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	2 1	2 2 1 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 1 1	1 1 1	1 1 1 1 1 1 1		,	兼
教育ガバナンスコース専攻科目	コース共通科目群	小計(46 科目) 実践教育事務論 教育法学概論 少年法概論 キャリア発達論 経済学概論 教育社会学 コミュニケーション論実習 教育ガバナンス基礎演習 I 教育ガバナンス基礎演習 II Intermediate English I Intermediate English I S教育事務概論 政治学版論 財政学版論 実践地方自治版論 教育情報リテラシー 法学版論 教育がパナンス概論 教育がパナンス概論 教育がパナンス概論 教育がパナンス概論 教育がパナンス演習 I 教育がパナンス演習 I	一 2 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 2 1 2	2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	9 9 9 3 3 3 1 9	5 5 5 5 5	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 2 2 2 1 1	0	兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1		教育ガバナンスコース専攻科目	コース共通科目群	小計(46科目) 実践教育事務論 教育法学概論 少年法概論 キャリア発達論 経済学版論 教育社会学 コミュニケーション論実習 教育ガバナンス基礎演習 II Intermediate English I Intermediate English I 財政学版論 実践地方自治版論 教育情報リテラシー 法学概論 教育がバナンス概論 教育がバナンス概論 教育がバナンス概論 教育がバナンス概論 教育がバナンスで調置 II 教育がパナンス演習 II 教育がバナンス演習 II	一 2前的 2前的 2前的前 2前的前 2前的前 2後 2後 2後 2後 2後 2後 3前前前 3前 3前 4 4 4	2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	2 2 3 3 2 1 7	1 1 2 1 2 1 2 1 6 1 6 6 6	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1	0	兼1

						単位数	ζ		専任着	枚員等の	の配置		
	科目 区分		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	備考
					修	択	由	授	教授	師	教	手	
		数	学校経営論	3前		2							兼1
専	へ 教	育	自治体子ども施策論	3前		2		1					
門	育	を 柱	「子ども権利」論	3後		2							兼1
教	ガ	Ŀ	教育課程概論	3後		2							兼1
育	バ	する	NPOと学校	4前		2		1					
科目	ナン	科目	学校コンフリクト論	4前		2		1					
	スコ	群	インクルージョンと法	4前		2							兼1
	ース		家族支援論	4後		2		1					
	専	法	公法学概論	3前		2							兼1
	攻	律	子ども法 I	3前		2					1		兼1
	科	を 柱	子ども法Ⅱ	4前		2							兼1
	旦	ا خ	少年法演習 I	3前		2					1		
		る	少年法演習Ⅱ	3後		2					1		
		科目	公法学演習 I	3前		2							兼1
	1	群	公法学演習Ⅱ	3後		2							兼1
			行政法	3後		2							兼1
		行	比較政治学	3前		2							兼1
		財	現代政治論	3後		2							兼1
		政を	現代政治史	3後		2							兼1
		柱	政治学演習I	3前		2							兼1
		とす	政治学演習 Ⅱ	3後		2							兼1
		る料	国際経済学	3前		2				1			
		目	経済政策論	3前		2				1			
		群	学校財政論	3後		2							兼1
			金融経済教育論	3後		2				1			
			金融論	3後		2				1			
			経済学演習 I	3前		2				1			
			経済学演習 II	3後		2				1			
			教育情報化概論	3前		2			1				1
		情報	教育情報システム論	3前		2		1					
		を	学校事務情報論	3前		2		1					
		柱と	情報セキュリティマネジメント	3前		2							兼1
		する	実践教育情報概論	3後		2							兼1
		科	学校情報演習	3後		2							兼1
		群	ICTとキャリア論	3後		2							兼1
			ICTと教育環境論	3後		2							兼1
			ICTと学校評価論	3後		2							兼1
		群グ	多文化理解 I	3前		2		1	2				1
		1	多文化理解Ⅱ	3後		2							兼2
		バ	現代社会論	3後		2			1				7,1,42
		ルを	Advanced English I	3前		2		2	1		1		
	1	を 柱 と	Advanced English II	3後		2		2			1		
		す	World Education I	3前		2		1					
		る科	World Education II	3後		2		1					
		17	World Education II 異文化理解のための現代史	3後		2		1	1				
	1	Ь—		3俊	10	126	0	9	5	1	2	0	-
	<u> </u>		卒業研究	4前後	10	120	U	9	- O	1	4	U	
		^		-09 EA			-		-	-	Η.	Η.	1
		合	計 (206 科目)	_	77	314	0	12	9	5	2	0	

						単位数	ζ		専任教	数員等	の配置		
	科目 区分		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	쵉	助	助	備者
)J				修	択	由	授	教授	師	教	手	
		46	学校経営論	3前		2			1				f
専	へ 教	教育	自治体子ども施策論	3前		2		1					
門	育	を柱	「子ども権利」論	3後		2							兼
教	ガ	とす	教育課程概論	3後		2							兼
育	バナ	る	NPOと学校	4前		2		1					
科目	アン	科目	学校コンフリクト演習	2後		2							*
	ス	群	教育メディエーター演習	4前		2							兼
	7		インクルージョンと法	4前		2							兼
	ース		家族支援論	4後		2		1					١.,
	専	法	公法学概論	3前		2							兼
	攻	律を	子ども法I	3前		2					1		兼
	科目	柱	子ども法Ⅱ	4前		2							兼
)	とす	少年法演習I	3前		2					1		
		る科	少年法演習Ⅱ	3後		2 2					1		ىد
		目	公法学演習I	3前									兼
		群	公法学演習Ⅱ 行政法	3後		2 2							兼
			比較政治学	3恢		2		-					床
		行財	現代政治論	3後		2							東
		EV.	現代政治史	3後		2							東
		を柱	政治学演習I	3前		2							東
		とす	政治学演習Ⅱ	3後		2							角
		る	国際経済学	3前		2				1			1
		科目	経済政策論	3前		2				1			
		群	学校財政論	3後		2				_			兼
			金融経済教育論	3後		2				1			
			金融論	3後		2				1			
			経済学演習 I	3前		2				1			
			経済学演習Ⅱ	3後		2				1			
		情	教育情報化概論	3前		2		1					1
		報	教育情報システム論	3前		2		1					
		を 柱	学校事務情報論	3前		2		1					l
		とす	情報セキュリティマネジメント	3前		2							甪
		る	実践教育情報概論	3後		2							甪
ļ		科目	学校情報演習	3後		2							甪
ļ		群	ICTとキャリア論	3後		2							兼
			ICTと教育環境論	3後		2							兼
		群グ	ICTと学校評価論	3後		2		l					兼
		I2	多文化理解 I	3前		2		2	1				٠.
		パ	多文化理解Ⅱ	3後		2			١.				兼
		ルを	現代社会論	3後		2			1	١.			
		柱	Advanced English I	3前		2		2		1			
		とす	Advanced English II	3後		2		2		1			
		る科	World Education I	3前		2		1					
ļ		科目	World Education II	3後		2		1					
			異文化理解のための現代史 小計(69科目)	3後	10	2 128	0	9	1 3	1		0	Ͱ
				4前後	10	128	U	9	3	1	1	U	\vdash
			卒業研究	4削俊									╄
		_	計 (206 科目)	I –	79	314	0	14	8	3	2	0	1

【平成29年度】

							単位数	ζ		専任教	效員等	の配置		Π
		科目 区分		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	備
						修	択	由	授	授	師	教	手	
ŧ.	教			初年次演習	1前	1				2	1	1		
亜半	養科		キャリア	キャリアデザイン I キャリアデザインⅡ	1後 2後	1								東東
1	目	基礎教養	ン科目	市民リテラシー	1前~2後	•	2			1	1			未
		科目	課題探	多文化リテラシー	1前~2後		2		2		1			ォ
			究科目	科学リテラシー	1前~2後		2							身
				ものづくりリテラシー	1前~2後		2							ォ
			現代的課	特別支援教育基礎	1後~3前	2								*
			題対	発達障害のある児童生徒理解基礎 外国人児童生徒支援教育	1後~3前 1後~3前	2								R R
١			応科目	危機管理	1後~3前	2								X X
		教師		初年次学校体験活動	1前・1後	1								3
		教養 科目	実践	学校サポート活動 I	2後	2								100
			力育	学校サポート活動Ⅱ	3前~4後		1							37
			成科目	自然体験活動	3前~4後		1							100
				多文化体験活動 企業体験活動	3前~4後 3前~4後		1							100
ŀ	E	日本国	憲法	日本国憲法	3削~4仮 1前・1後	2	1							3
Ì	_	報教育		情報教育入門	1前	2								3
ĺ	外国	英	語	英語I	1前	1			1		1			7100
	語	初	I	英語 II ドイツ語 I	2後 1後	1	1		1					1
	科目	習	ドイツ語	ドイツ語 Ⅱ	2前		1	Ì		Ì	Ì	Ì		100
		外国	フラン	フランス語 I	1後		1							
		語科	ス語	フランス語Ⅱ	2前		1							3
		目	中国語	中国語 I 中国語 II	1後 2前		1							100
			ポルト	中国語Ⅱ ポルトガル語 I	2削 1後		1	Ì		Ì	Ì	Ì		100
			ガル語	ポルトガル語Ⅱ	2前		1	ĺ		ĺ	ĺ	ĺ		100
			ジュニ	英語コミュニケーション I	1後	1			1		1			37
ļ			ション	英語コミュニケーション II スポーツ I	2前 1前・1後	1			2					ľ
	ス	ポーツ	科目	スポーツⅡ	1刊・1仮 2前・2後	1	L	L	L	L	L	L	L	100
				小計 (33 科目)	_	24	20	0	3	3	3	1	0	L
専		課	目教 育	教育学概論	1前	2				1			l	l
門老		程内	学	教育原理教育心理学	1前 1前	2	Ì	Ì	1	1	Ì	Ì		ı
首	î	共	基礎	教育経営学	1前	2	Ì	Ì	1	Ì	Ì	Ì		I
彩目		通科	科	生涯学習概論	1後	2	-	-	1	-	-	-		l
		Ħ	教	教育支援と心理 教育支援と福祉	1前 1前	2	Ì	ĺ	2	ĺ	1	1		
			育支	教育支援と教育ガバナンス	1前	2			6			1		
			援科	生涯発達心理学	1後		2				1			
			B	学校と家族 教育と人間関係論	1後 1後		2 2		1	1				
				心と身体	1後		2		1					
				社会学概論	1後		2		1					١.
				社会福祉原論 I 児童・家庭福祉論	1後 1後		2 2	Ì		Ì	1	Ì		10.7
				地域福祉論	1後		2	ĺ		1	1	ĺ		
				子ども法入門	1後		2					1		100
				グローバル文化・社会論 ジェンダー史入門	1後 1後		2 2		1	1				
			L	情報セキュリティと情報モラル	1後		2	L	L	Ĺ	L	L	L	***
		<u></u>	_	小計(20科目)	_	16	24	0	6	5	2	1	0	L
		心	人	心理学概論	2前		2 2			1	1			
		理コ	間心理	青年心理学認知心理学	2前 2前		2				1			100
		1	理を理	乳幼児心理学	2前		2	ĺ		ĺ	ĺ	ĺ		100
		専	解す	児童思春期の心理	2後		2	ĺ	1	ĺ	ĺ	ĺ		ĺ
		攻科	する科	思考心理学言語心理学	2後 2後		2 2	ĺ		ĺ	ĺ	ĺ		100
		目	目群	心理学統計法	3前		2	ĺ		ĺ	ĺ	ĺ		1
			l .	心理学研究法	3後		2		١.					3
				.º V-1-11 = .3A		2	2		1					l
			科方学	パーソナリティ論 教育評価	3後3前							ı	1	
			目法校 群を現	教育評価 教授心理学	3前 3前		2		1					ı
			目法校現場の 解の	教育評価 教授心理学 障がい児(者)心理学	3前 3前 3後		2 2		1		1			
			目法校 群を現 理場	教育評価 教授心理学 障がい児(者)心理学 教育相談論	3前 3前 3後 3後		2 2 2		1	1	1			
			目群の教育心	教育評価 教授心理学 障がい児(者)心理学	3前 3前 3後		2 2		3	1 2	1 2			**3
			目群 法を理解する ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	教育評価 教授心理学 験がい児(者)心理学 教育相談論 キャリアデザイン 臨床心理学戦論 教育臨床学	3前 3前 3後 3後 4前 2前 2後	2	2 2 2 2 2				2			***
			目群 法を理解する ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	教育評価 教授心理学 験が、児(者)心理学 教育相談論 キャリアデザイン 臨床心理学既論 教育臨床学 子どもの心理療法	3前 3前 3後 3後 4前 2前 2後 3前		2 2 2 2		3	2				3
			目群 法を理解する 科目群 校現場の教育 心理臨床を理解	教育評価 教授心理学 験がい児(者)心理学 教育相談論 キャリアデザイン 臨床心理学戦論 教育臨床学	3前 3前 3後 3後 4前 2前 2後	2 2	2 2 2 2 2		3		2			3
			目群 科目群	教育評価 教授心理学 職がい児(者)心理学 教育相談論 キャリアデザイン 臨床心理学概論 教育臨床学 子どもの心理療法 チーム支援論 地域と家族 スクールカウンセリング概論	3前 3前 3後 3後 4前 2前 2後 3前 3前		2 2 2 2 2 2 2 2		3	2	2			-
			目群 本 利目群 域を 技を理解する 科目群 域を 校現場の教育 心理臨床を理解する 教育	教育評価 教授心理学 験育相談論 キャリアデザイン 臨床心理学版論 教育臨床学 子どもの心理療法 チーム支援論 地域と家族 スクールカウンセリング概論 医学概論	3前 3前 3後 4前 2前 2前 3前 3前 4前 2前		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		3	2	2			3
			目群 本語 日群 はを理解する 教育に関校現場の教育 心理臨床を理解する 教育に関	教育評価 教授心理学 職が、児(者)心理学 教育相談論 キャリアデザイン 臨床心理学概論 教育臨床学 子どもの心理療法 チーム支援論 地域に家族 エタールカウンセリング概論 医学概論 精神医学概論	3 in 3 in 3 in 3 in 4 in 2	2	2 2 2 2 2 2 2 2		3 1	2	2			700
			目群 科目群 域を理解する 教育に関わる校現場の教育 心理臨床を理解する 教育に関わる	教育評価 教授心理学 験育相談論 キャリアデザイン 臨床心理学版論 教育臨床学 子どもの心理療法 チーム支援論 地域と家族 スクールカウンセリング概論 医学概論	3前 3前 3後 4前 2前 2前 3前 3前 4前 2前		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		3	2	2			700
			目群	教育評価 教授心理学 酸がい児(者)心理学 教育相談論 キャリアデザイン 臨床心理学振論 教育臨床学 子どもの心理療法 チーム支援論 地域と家族 スクールカウンセリング概論 医学概論 精神医学概論 医療心理学	3 前 3 前 3 後 4 前 2 前 3 前 3 後 4 前 2 前 2 前 2 前 2 前 2 後	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		3 1	2	2			37 37 37 37 37 37 37

						単位数	ζ		専任教	女員等:	の配置	:	
	科目 区分		授業科目の名称	配当年次	必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	備考
		心理	心理学基礎実験実習I	2前	159	1	щ	1.0	1.0	12/12	47	,	兼2
専	心	学の	心理学基礎実験実習Ⅱ	2後		1							兼2
門	理	知識	心理検査実習Ⅰ	2前		1			1				
教育	コー	技	心理検査実習Ⅱ 心理面接実習Ⅰ	2後 3前		1		1					
科目	ス専	能を必	心理面接実習Ⅱ	3後		1		1					
Ė	攻	学ぶ科	心理臨床·実践領域実習 I	3前		1		3	2	2			
	科目	日群	心理臨床・実践領域実習Ⅱ	3後		1		3	2	2			defe s
	1)	87	心理臨床·実践職能論 教育臨床心理学演習 I	3後 3前		2 2		3	2	2			兼1
			教育臨床心理学演習 Ⅱ	3後		2		3	2	2			
			教育支援心理演習 I	4前		2		3	2	2			
		<u> </u>	教育支援心理演習Ⅱ 小計(40科目)	4後	10	2 62	0	3 4	2	2	0	0	
		群人間	心理学概論	2前	2					1			
	福祉	を理	精神保健論	2前		2							兼1
		解す	心と身体の理解 医学概論	2後		2 2							兼1 兼1
	ス	, る 科	公子院開 介護概論	2後 2後		2							兼1
	専攻	目	カウンセリング心理学	2後		2				1			2014
	科	生	公的扶助論	2前		2							兼1
	目	活を	障害者福祉論 高齢者福祉論	2前 2前		2 2							兼1 兼1
		理解	就労支援論	2前	l	1				l	ĺ	l	兼1
		する	社会調査論	2前		2		1					
		科目	社会福祉原論Ⅱ	2後		2							兼1
		群	司法福祉論 権利擁護と成年後見	2後 2後		1 2							兼1 兼1
		ĺ	権利擁護と以午仮見 保健医療論	2俊	l	2				l	ĺ	l	兼1
			社会調査演習	3前		2							兼1
		У	ソーシャルワーク総論 I	2前	2				1				
		シ	ソーシャルワーク総論 II ソーシャルワーク演習 I	2後 2前	2	2			1				
		ヤル	ソーシャルワーク演習 Ⅱ	2後		2			1				兼1
		ワー	ソーシャルワーク I	3前		2							兼1
		ク 科	ソーシャルワークⅡ	3後		2							兼1
		目群	ソーシャルワーク演習Ⅲ	3前		2					1		defe a
			ソーシャルワーク演習Ⅳ ソーシャルワーク演習 V	3前 3前		2 2							兼1 兼1
			ソーシャルワーク実習指導 I	3前		1			2				兼1
			ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3後		1			2				兼1
			社会福祉実習 ソーシャルワークⅢ	3前 4前		6			2				兼1 兼1
			ソーシャルワークIV	4後		2							兼1
		华	福祉心理論	2後		2							兼1
		校福	教育相談論	3前		2				1			
		社科	スクールソーシャルワーク論 スクールソーシャルワーク演習	3後 4前	2					1			
		目群	スクールソーシャルワーク実習指導	4前	1	1				2			
			スクールソーシャルワーク実習	4前		3				2			
			カウンセリング心理学演習	4前		2				1			
			教育支援人材福祉特論 I 教育支援人材福祉特論 II	3後 4前		2 2			2 2	2 2			
			教育支援人材福祉特論Ⅲ	4後		2			2	2			
		目地 群城	社会保障論 I	2後		2			1				
		福祉	社会保障論Ⅱ	3後		2			1				w.
		基盤	コミュニティーワークコミュニティ心理学	3前 3後		2 2				1			兼1
		整備	福祉行財政と福祉計画	4後	l	2			1	1	ĺ	l	
		科	福祉運営管理論	4後		2							兼1
		ı	小計(46科目)	-	9	82	0	1	2	2	0	0	
	教	3 1	実践教育事務論 教育注学概論	2前 2前	2	2		1					兼1
	育ガ	ス	教育法学概論 少年法概論	2前	2			1			1		
	バ	共通科	キャリア発達論	2前	-	2							兼1
	ナン	料 目 群	経済学概論	2前	2					1			
	スコ	87	教育社会学	2前		2			١.	۱.	١.		兼1
	- 1		コミュニケーション論実習 教育ガバナンス基礎演習 I	2前 2前	2	2		10 10	4	2 2	1		
	ス専		教育ガバナンス基礎演習Ⅱ	2後	2			10	4	2	1		
	攻		Intermediate English I	2前		2		3	1	1			
	科目		Intermediate English II	2後		2		3		1			
			教育事務概論 政治学概論	2後 2後		2 2							兼1 兼1
		ĺ	財政学概論	2後	l	2				l	ĺ	l	兼1
		ĺ	実践地方自治概論	2後	l	2				l	ĺ	l	兼1
		ĺ	教育情報リテラシー	2後	l	2				l		l	兼1
		ĺ	法学概論 行政学概論	3前 3前	l	2 2				l	1	l	兼1 兼1
		ĺ	教育ガバナンス概論	3前	l	2		1		l	ĺ	l	AK1
		ĺ	学校・自治体インターンシップ	3前	l	2		10	4	2	1	l	
		ĺ	評価学概論	3後	l	2		١	١.	٦	١.	l	兼1
		ĺ	教育ガバナンス演習 I 教育ガバナンス演習 II	4前 4後	l	2 2		10 10	4	2 2	1 1	l	
ı	ı	I	*************************************	*170	I	I 4	I .	10	*	ı 4	I *	I	•

						単位数	(専任拳	女員等(の配置		
	科目		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	備考
	区分				修	択	由	授	教授	飾	教	手	
			学校経営論	n wife	188	7八 2	н	仅	1文	ĐÍT	叙	+	dafe a
_	_	教	子仪経呂師 自治体子ども施策論	3前 3前		2		1					兼1
専	教	育を	「子ども権利」論	3後		2		1					兼1
門教	育ガ	柱	教育課程概論	3後		2							兼1
育	バ	とす	NPOと学校	4前		2		1					MC1
科	ナ	る 科	学校コンフリクト論	4前		2		1					
旦	ンス	目群	インクルージョンと法	4前		2		-					兼1
			家族支援論	4後		2		1					7,1142
	1		公法学概論	3前		2							兼1
	ス専	法律	子ども法 I	3前		2					1		兼1
	攻	本	子ども法Ⅱ	4前		2							兼1
	科	柱と	少年法演習 I	3前		2					1		
	旦	する	少年法演習Ⅱ	3後		2					1		
		科目	公法学演習 I	3前		2							兼1
		群	公法学演習Ⅱ	3後		2							兼1
			行政法	3後		2		<u></u>	<u> </u>	<u> </u>			兼1
		行	比較政治学	3前		2							兼1
		財	現代政治論	3後		2							兼1
		政を	現代政治史	3後		2							兼1
		柱	政治学演習I	3前		2							兼1
		とす	政治学演習Ⅱ	3後		2							兼1
		る科	国際経済学	3前		2				1			
		目群	経済政策論	3前		2				1			
		9+	学校財政論	3後		2							兼1
			金融経済教育論	3後		2				1			
			金融論	3後		2				1			
			経済学演習I	3前		2				1			
			経済学演習Ⅱ	3後		2				1			
		情	教育情報化概論	3前		_		1					
		報を	教育情報システム論 学校事務情報論	3前 3前		2 2		1					
		柱と	子(ソサ初) 「報酬 情報セキュリティマネジメント	3前		2		1					兼1
		す	実践教育情報概論	3後		2							兼1
		る科	关 以	3後		2							兼1
		目群	子仅用報供自 ICTとキャリア論	3後		2							兼1
		94	ICTと教育環境論	3後		2			l	l			兼1
			ICTと学校評価論	3後		2							兼1
		群グ	多文化理解 I	3前		2		2	1				7,111
		1	多文化理解Ⅱ	3後		2		1	-				兼2
		パル	現代社会論	3後		2			1				7,110
		ル を 柱	Advanced English I	3前		2		2		1			
		柱と	Advanced English II	3後		2		2		1			
		とする	World Education I	3前		2		1					
		科	World Education II	3後		2		1					
		目	異文化理解のための現代史	3後		2			1				
			小計(68科目)	_	10	126	0	10	4	2	1	0	
			卒業研究	4前後	10								
中来切允 合計 (206 科目)					79	314	0	13			-	0	
		7	ni (200 4T El /	_	79	514	0	13	8	6	1	0	

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

【平成29年度】

- ・教育課程の充実のため、「キャリアデザインI」及び「キャリアデザインII」を科目追加。
 ・科目内容充実のため「多文化リテラシー」担当教員を変更し、「准教授 1、講師 1」を「教授 2、講師 1」に変更。
 ・科目内容充実のため課程内共通科目の「教育支援と心理」、「教育支援と福祉」、「教育支援と教育ガバナンス」の担当教員を追加し、それぞれ「教授 1」から「教授 2」、「講師 1」から「講師 1、助教 1」、「教授 1」から「教授 6、助教 1」に変更。
 ・担当科目の見直しにより、「心理学統計法」と「心理学研究法」を「准教授 1」から「兼担 1」へ変更し、「教育評価」と「教授心理学」を「兼担 1」から「教授 1」に変更。

- |教育評価||と「教授心理学」を「兼担「」から「教授「」「定変更。 教員の教授昇進による職位変更により、担当科目「教育支援と教育ガバナンス」、「多文化理解 I 」、「コミュニケーション論実習」、 「教育ガバナンス基礎演習 I 」、「教育ガバナンス基礎演習 I 」、「学校・自治体インターンシップ」、「教育ガバナンス演習 I 」、「教育ガバナンス演習 I 」、「教育ガバナンス演習 I 」、「教育ガバナンス演習 I 」、「教育ガバナンス演習 I 」、「Advanced English I 」、「Intermediate English I 」、「Advanced English I 」、「Advanced English I 」、「「参育ガバナンス基礎演習 I 」、「学校・自治体インターンシップ」、「教育ガバナンス演習 I 」、「教育ガバナンス基礎演習 I 」、「学校・自治体インターンシップ」、「教育ガバナンス演習 I 」、「教育ガバナンス演習 I 」、「英語 I 」、「英語コミュニケーション I 」についてそれぞれ「助教」から「講師」に変更。
- 誤記入であったため、「教育情報化概論」の担当を「准教授1」から「教授1」に修正。

【平成30年度】

- ・授業内容の充実のため、「初年次演習」の担当教員を「准教授2、講師1、助教1」から「教授3、准教授3、講師2、助教2」に追加変更。 ・専任教員の退職及び採用により「市民リテラシー」の担当教員を「准教授1、講師1、兼担1」から「准教授2、兼担1」に変更。 ・専任教員の定年退職及び採用により、「教育経営学」の担当教員を「教授1」から「准教授1」に変更。 ・担当教員の見直しにより、「教育支援と福祉」の担当教員を「講師1」がら「講師1」に変更。

- ・担当教員の見直しにより、「教育支援と福祉」の担当教員を「講師 1、助教 1」から「講師 1」に変更。
 ・公認心理師科目に対応するため、授業科目の名称を「生涯発達心理学」から「発達心理学 I 」に変更。
 ・教員の採用により、「社会福祉[論] の担当教員を「兼任 1」から「教授 1 」に変更。
 ・教員の採用により、「地域福祉論」の担当教員を「兼任 1」から「教授 1」に変更。
 ・ 公認心理師対応のための授業科目の見直しを行ったことにより、「心理学概論」の履修要件を「選択」から「必修」に変更。
 ・ のない理師対応のための授業科目の見直しを行ったことにより、「心理学概論」の履修要件を「選択」から「必修」に変更。
 ・ 会認心理師科目に対応するため、授業科目の名称を「青年心理学」から「発達心理学 II」に変更。
 ・ 公認心理師科目に対応するため、授業科目の名称を「認知心理学」から「知覚・認知心理学」に変更。
 ・ 公認心理師科目に対応するため、「実料目の名称を「認知心理学」」の「知覚・区変」に変更。
 ・ 公認心理師科目に対応するため、「乳幼児心理学」を「発達心理学」」及び「心理学的支援法II」に統合し、廃止。

- ・公認心理師科目に対応するため、「児童思春期の心理」を「発達心理学 I 」及び「心理学的支援法 II 」に統合し、廃止。
- ・公認心理師科目に対応するため、「思考心理学」を「知覚・認知心理学」「統合し、廃止。 ・公認心理師科目に対応するため、「思考心理学」を「知覚・認知心理学」に統合し、廃止。 ・公認心理師科目に対応するため、授業科目の名称を「言語心理学」から「学習・言語心理学 I 」に変更。
- ・公認心理師科目に対応するため、授業科目の名称を「高語心理学」から「学音・言語心理学」「「変更。 ・公認心理師科目に対応するため、授業科目の名称を「パーソナリティ論」から「感情・人格心理学」に変更し、 科目の見直しを行ったことにより履修要件を「必修」から「選択」に変更。 ・公認心理師科目に対応するため、「教育評価」を「学習・言語心理学」「に統合し、廃止。 ・公認心理師科目に対応するため、授業科目の名称を「教授心理学」から「学習・言語心理学」」に変更し、

- 「教育評価」の内容も統合したことにより担当教員を「兼担1」から「教授1」に変更。
- ・公認心理師科目に対応するため、授業科目の名称を「障がい者(児)心理学」を「障害者・障害児心理学」に変更し、 担当教員の見直しにより、「講師 1 」から「教授 1 」に変更。 ・公認心理師科目に対応するため、授業科目の名称を「教育相談論」から「教育・学校心理学 I 」に変更。

- ・公認心理師対応科目の見直しに併せ担当を見直したため、「臨床心理学概論」の担当教員を「教授 3 , 准教授 2 , 講師 2] から「教授 1 」に変更、公認心理師科目に対応するため、授業科目の名称を「教育臨床学」から「心理学的支援法 I 」に変更。
- 公認心理師科目に対応するため、授業科目の名称を「教育臨床学」から「心理学的支援法 I」に変更。
 公認心理師科目に対応するため、授業科目の名称を「子どもの心理療法」から「心理学的支援法 I」に変更、履修要件を「選択」から「必修」に変更。
 「乳幼児心理学」の内容を含むこととしたため、担当教員を「講師 1」から「准教授 1、講師 1」に変更。
 公認心理師科目に対応するため、「チーム支援論」を「教育・学校心理学 II」及び「心理演習」に統合し、廃止。
 公認心理師科目に対応するため、授業科目の名称を「地域と家族」から「社会・集団・家族心理学」に変更し、学年配当を「3後」から「3前」に変更。
 公認心理師科目に対応するため、授業科目の名称を「スクールカウンセリング概論」から「教育・学校心理学 II」に変更し、
 担当教員の見直しにより、「兼担 1」から「推教授 1」に変更。
 公認心理師科目に対応するため、「福祉心理学」を科目追加。
 公認心理師科目に対応するため、「司法・犯罪心理学」を科目追加。
 公認心理師科目に対応するため、「関係行政論」を科目追加。
 公認心理師科目に対応するため、「関係行政論」を科目追加。
 公認心理師科目に対応するため、「関係行政論」を科目追加。

- ・公認心理師科目に対応するため、「関係行政論」を科目追加。 ・公認心理師科目に対応するため、授業科目の名称を「医学概論」から「人体の構造と機能及び疾病」に変更。 ・公認心理師科目に対応するため、授業科目の名称を「精神医学概論」から「精神疾患とその治療」に変更し、学年配当を「2前」から「2後」に変更。 ・公認心理師科目に対応するため、授業科目の名称を「医療心理学」から「健康・医療心理学」に変更、履修要件を「必修」から「選択」に変更。 ・公認心理師科目に対応するため、授業科目の名称を「健康心理学」から「神経・生理心理学」に変更、履修要件を「必修」から「選択」に変更。

- ・公認心理師科目に対応するため、授業科目の名称を「健康心理学」から「神経・生埋心理学」「に変更、 権修要件を「必修」から「選択」「に変更。
 ・教員の採用により、「認知行動療法論」の担当教員を「兼担1」から「助教1」「に変更。
 ・公認心理師科目に対応するため、授業科目の名称を「集団心理療法論」から「産業・組織心理学」に変更。
 ・公認心理師科目に対応するため、授業科目の名称を「心理学基礎実験実習Ⅰ」から「心理学実験Ⅰ」に変更、 履修要件を「選択」から「必修」に変更し、必修科目としたため、授業担当教員を「兼担2」から「教授1、准教授1、助教1」に変更、 履修要件を「選択」から「必修」に変更し、必修科目としたため、授業担当和人を「心理学基礎実験実習Ⅱ」から「心理学実験Ⅱ」に変更、 履修要件を「選択」から「必修」に変更し、必修科目としたため、授業担当教員を「兼担2」から「准教授1、講師1、助教1」に変更。
 ・公認心理師科目に対応するため、授業科目の名称を「心理検査実習Ⅰ」から「心理的アセスメントⅠ」に変更し、
 ・公認心理師科目に対応するため、授業科目の名称を「心理検査実習Ⅰ」から「心理的アセスメントⅠ」に変更し、
- 担当教員の見直しにより、「准教授 1」から「教授 1」に変更。

- 実習時間の確保のため単位数を「1」から「2」に変更、
- 教員の昇進(教授へ昇進1)、推教授へ昇進1)と採用のため、「教授3,准教授2,講師2」から「教授4,准教授2,講師1,助教1」に変更。・公認心理師科目に対応するため、授業科目の名称を「心理臨床・実践領域実習Ⅱ」から「心理実習Ⅱ」に変更し、実習時間の確保のため単位数を「1」から「2」に変更、

- 教員の昇進(教授へ昇進1, 准教授へ昇進1)と採用のため,「教授3,准教授2,講師2」から「教授4,准教授2,講師1,助教1」に変更。
- な認心理師科目に対応するため、授業科目の名称を「心理臨床・実践機能論」から「公認心理師の職責」に変更し、 科目の見直しにより、担当教員を「兼担1」から「教授1」に変更。

- 付日の見直しにより、担当教員を「兼担「Jから「教授 J J L 変更。 ・公認心理師科目に対応するため、授業科目の名称を「教育臨床心理学演習 I J から「心理演習」に変更し、 授業実施方法の見直しにより、単位数を「2 J から「寸」に変更し、 これにより担当教員を「教授3、准教授2、講師 1 J から「教授2、准教授2」に変更。 ・「教育臨床心理学演習 I J を変更したため、授業科目の名称を「教育臨床心理学演習 I J から「教育臨床心理学演習」に変更し、 教員の採用による担当教員の見直しと教員の昇進により、「教授3、准教授2、講師2 J から「教授3、准教授2、講師1, 助教1」に変更。 ・「教育支援心理演習 I J 、「教育心理演習 II 」についても、教員の採用による担当教員の見直しと教員の昇進により、 「教授3、准教授2、講師2 J から「教授3、推教授2、講師1, 助教1」に変更。

- ・教員の退職により、福祉コースで開講する「心理学概論」の担当教員を「講師1」から「兼任1」に変更。・授業担当者の見直しにより、「心と身体の理解」の担当教員を「兼任1」から「教授1」に変更。・教員の退職及び採用により、「カウンセリング心理学」の担当教員を「講師1」から「助教1」に変更。

- ・教員の退職及び採用により、「カワンセリング・理学」の担当教員を「講師1」から「朝教1」に変更。
 ・教員の採用により、「社会福祉原論Ⅱ」の担当教員を「兼任1」から「教授1」に変更。
 ・授業担当者の見直しにより、「司法福祉論」の担当教員を「兼任1」から「助教1」に変更。
 ・授業担当者の見直しにより、「ソーシャルワーク演習Ⅱ」の担当教員を「兼任1」から「准教授1」に変更。
 ・届出時の職位の誤記入があったため、「ソーシャルワーク演習Ⅲ」の担当教員を「随教1」から「講師1」に修正。
 ・専任教員の退職及び採用により、「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」の担当教員を「権教授2」から「教授1、准教授1」に変更。
 ・専任教員の退職及び採用により、「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」の担当教員を「権教授2」から「教授1、准教授1」に変更。
 ・専任教員の退職及び採用により、「社会福生実習」の担当教員を「権教授2」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・専任教員の退職により、「教育相談論」の担当教員を「講師1」から「兼任1」に変更。

- 専任教員の退職により、「教育相談論」の担当教員を「講師 1」から「兼任 1」に変更。
 専任教員の退職により、「スクールソーシャルワーク実習指導」の担当教員を「講師 2」から「講師 1」に変更。
 専任教員の退職により、「スクールソーシャルワーク実習」の担当教員を「講師 2」から「講師 1」に変更。
 専任教員の退職により、「カウンセリング心理学演習」の担当教員を「講師 1」から「兼任 1」に変更。
 専任教員の退職及び採用により、「教育支援人材福祉特論 I」の担当教員を「推教授 2、講師 2」から「教授 1、准教授 1、講師 1」に変更。
 専任教員の退職及び採用により、「教育支援人材福祉特論 II」の担当教員を「推教授 2、講師 2」から「教授 1、准教授 1、講師 1」に変更。
 専任教員の退職及び採用により、「教育支援人材福祉特論 II」の担当教員を「推教授 2、講師 2」から「教授 1、准教授 1、講師 1」に変更。
 専任教員の退職により、「社会保障論 I」の担当教員を「准教授 1」から「兼任 1」に変更。
 専任教員の退職により、「社会保障論 I」の担当教員を「准教授 1」から「兼任 1」に変更。
 専任教員の退職により、「社会保障論 I」の担当教員を「准教授 1」から「兼任 1」に変更。
 専任教員の退職により、「社会保障論 I」の担当教員を「進教授 1」から「兼任 1」に変更。
 専任教員の退職により、「社会保障論 I」の担当教員を「進教授 1」から「兼任 1」に変更。
 専任教員の退職により、「社会保障論 I」の担当教員を「進教員を「護前 1」から「兼任 1」に変更。

- ・専任教員の退職により、「コミュニティ心理学」の担当教員を「講師1」から「兼任1」に変更。 ・専任教員の退職により、「福祉行財政と福祉計画」の担当教員を「准教授1」から「兼任1」に変更。 ・専任教員の採用により、「福祉運営管理論」の担当教員を「兼任1」から「教授1」に変更。
- 教員の採用により、「実践教育事務論」の授業担当を「兼任1」から「准教授1」に変更
- ・授業担当者の見直しにより、「教育法学概論」の担当教員を「教授 1」から「兼任 1」に変更。 ・教員の准教授昇進による職位変更により、「経済学概論」の担当教員を「講師 1」から「准教授 1」に変更。 ・「コミュニケーション論実習」の授業形態をオムニバスでなくクラス分けとしたため、
- 授業担当を「教授9. 准教授5. 講師1. 助教1」から「教授2. 准教授2. 兼担1」「変更。 「教育ガバナンス基礎演習 I 」の授業形態をオムニバスでなくクラス分けとしたため、

- ・「教育がパナンス基礎演習 I Jの授業形態をオムニバスではくグラスがけ としたにめ、 授業担当を「教授 9、 准教授 5、 講師 1、 助教 1 Jから「教授 2、 准教授 1、 助教 1 Jに変更。 ・「教育がパナンス基礎演習 II Jの授業形態をオムニバスでなくクラス分けとしたため、 授業担当を「教授 9、 准教授 5、 講師 1、 助教 1 Jから「教授 3、 准教授 2 Jに変更。 ・授業担当者の見直しにより、「Intermediate English I Jの担当教員を「教授 3、 助教 1 Jから「教授 3 Jに変更。 ・授業担当者の見直しにより、「Intermediate English I Jの担当教員を「教授 3、 助教 1 Jから「教授 2、 講師 1 Jに変更。 ・教員の採用により、「教育事務概論」の授業担当を「兼任 1 Jから「社教授 1 Jに変更。
- ・教員の退職採用昇進等により、「学校・自治体インターンシップ」の担当教員を「教授9、准教授5、講師1、助教2」から「教授7、准教授6、講師1、助教1」に変更。

- ・教員の採用により、「学校経営論」の授業担当を「兼任1」から「准教授1」に変更。
- 教育課程の充実のために、「学校コンフリクト論」を「学校コンフリクト演習」及び「教育メディエーター演習」に分割し、 教員の定年退職により、「教授1」から「兼任2」に変更。
- (注)・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、 平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

	設置時	の計画			変更	状況		備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	1
39 科	167 科目	0 科目	206 科目	41 科目 [2]	165 科目 [2]	0 科目 []	206 科目 [0]	

(注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに,[] 内に,設置時の計画からの増減を 記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位	数 配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2			對	き 無し		
3			, H2	· — /// ·		

- (注)・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位	数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	乳幼児心理学		2	2前	専門	選択	公認心理師となるために必要な科目に対応するため、他の科目と統合し「発達心理学 I 」及び「心理学的支援法 II 」として開講する。(30)
2	児童思春期の心理		2	2後	専門	選択	公認心理師となるために必要な科目に対応するため、他の科目と統合し「発達心理学 I 」及び「心理学的支援法1」として開講する。(30)
3	思考心理学		2	2後	専門	選択	公認心理師となるために必要な科目に対応するため、他の科目と統合し「知覚・認知心理学」として開講する。(30)
4	チーム支援論		2	3前	専門	必修	公認心理師となるために必要な科目に対応するため、他の科目と統合し「教育・学校心理学Ⅱ」及び「心理演習」として開講する。(30)
5	教育評価		2	3前	専門	選択	公認心理師となるために必要な科目に対応するため、他の科目と統合し「学習・言語心理学Ⅱ」として開講する。(30)
6	心理面接実習Ⅱ		2	3後	専門	選択	公認心理師となるために必要な科目に対応するため、他の科目と統合し「心理的アセスメントⅢ」として開講する。(30)

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

設置当初から公認心理師資格対応を予定しており、公認心理師法施行規則が平成29年9月15日に施 行されたことを受けて資格に対応するための変更であり、内容を取り扱わない訳ではないため学生に とって教育上の不利益は生じないと判断した。 学生には、学期ごとに履修ガイダンスを行い周知する。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び 「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

 未開講科目(3)と廃止科目(4)の計
 =
 6
 206
 2.91
 %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分						内					1	~~~~				備考
(1)		区	分			専		用		共	用		用する				計		
+*		校 쇩	計數 地	t			2	200, 887m²			n	ก๋			m²		200), 887m²	
校		運動	場用地	}			1	06, 346 m ²			n	ที่			m³		106	6, 346m²	大学全体
地		小	計	-			3	807, 233 m ²			n	nÎ			m [®]		307	7, 233 m²	
等		そ	の他	ļ.			1	30, 161 m ²			n	ก๋			m²		130), 161 m²	
		合	計	-			4	l37, 394m²			n		四十2		m²		437	7, 394m²	
						専		用		共	用		用する 校等の				計		
(2) 校			舎					62, 639 m²			n	ก้			mi		62	2, 639 m²	大学全体
					(62	, 639m²)	(m [*])	(14.44	m²)	(-	39m²)	
(0) ##		<u>—</u>	ht/t-	講	義	室		演	室		実験実	室	情報処	0.理学習		語与	学習		
(3) 教		室	等			68	8室		1	32室		249室	/ 1 ± 0+	. Table 12	12室	/ 1 ± 04			大学全体
								新設学部	生のな	▽ 			(相り	室	2人)	数)職員	0人)	
(4) 専	任教	員研究	室			数音	学音		• • •	口が 一 門職養成				27		奺		室	専任教員退職のため(3 0)
				3	<u> </u>	書		学術		1490122790	H/K 1-1			28					
(5)	新	f設学部 の名種		(5	ち外	(国書)		〔うちタ	国書	:)	電子ジャ-	ーナル	視聴覚	管資料	機械・器	具器	標	本	
		07-111	,jr				m			種	[うち外]	国書〕		点		点		点	大学全体
図		教育学		623, 85 525, 4		31, 10 95, 77		10, 584 1, 4	[1, 8 29 [1		6, 781 (7, 700 (1585 1532		616		0	図書館の改修により図
書 • 設		育支援 養成課		(623, (524	857 (, 203	131, 107 (95, 659)))		584 [1, 4 29 [1 6			(4, 182)) (3, 752))	(1, 5 (1, 5	(85) (32)	(616)		(0)	書設備が充実したため(30)
備		計		623, 85 525, 4		(31, 10) (95, 77)		10, 584 1, 4	[1, 8 29 [1		6, 781 [7, 700 [1585 1532		616		0	
		пі		(623, (524	857 (, 203	131, 107 (95, 659)))))	10, ! (1, .	584 [1, 429 [16	853] 37])	(6, 781 (7, 700	(4, 182)) (3, 752))	(1, 5 (1, 5	i85) i 32)	(616))	(0)	
(6) 図		書	館		面	Ī		積			閲覧座	席数		収	納可	能		数	大学全体 図書館内にメディアコモン ズ,模擬授業ルームの協働学
(0) 🗵			AD.					5, 86	1 m²				352 453				7	711, 511	マスト 保険技業ルームの協働子 習ルームが整備されたため (30)
					面	Ī		積			4	卜育館以 9	1のスオ	パーツ施	設の概要	į			
(7) 体		育	館					3, 372	武 ト 2㎡ 陸 野	<u> </u>		デセン 技 1	場 ター 場 面		カ - ドボ - ビ - プ ー	- ル - キ	· 場 場	1 面 2 面 1 面	大学全体
											⊐ –		2 面	水 泳	フ ー	ル	5	0 m	
		経費	Σ		分		開	設年度	完月	成年度	区	分	開設前		開設年		完成	(年度 	
(8) 経費の		積り		人当り				千円		千円				千円		竎		千円	-
程 積り及 維持方	とびし			研 3				千円		千円				千円		千円	Arter = '	千円 	
の 概	要	学生 1	J	第	1年			第2年次		第3年		第4年		第	5 年次	_	第6年		
		納付		 以外の約	維持・	方法の	柳更		円		千円		千円		千円	1		千円	
		7-1	44.11.1 7 <u>17.</u>	~~/!''	ιτ 14,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	加女	•											

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	愛知	教育	大学	2								備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入定	学員	編入 定	学員	収 定	容員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設年 度			
	年		人	年	次		人		倍				
					人								
教育学部													
初等教育教員養成課程	4		455	-		1,	694	学士	1. 06	平成12年原	愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1 番地	平成 2 9 年度♪ 392人→455人	、学定員変更
中等教育教員養成課程	4		210	-			792	学士	1. 09	平成12年原	同上	186人→210人	
特別支援学校教員養成課程	4		30	-			110	学士	1. 08	平成12年原	同上	25人→30人	
養護教諭養成課程	4		40	-			160	学士	1. 10	平成12年原	同上		
教育支援専門職養成課程	4		130	-			520	学士	1. 03	平成29年原	同上		
現代学芸課程	4	-				-		学士	-	平成19年原	同上	平成29年学生	募集停止
大学院教育学研究科修	多士課科	呈											
発達教育科学専攻	2		20	-			40	修士 (教育学)	1. 00	昭和53年原	要知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1 番地		
特別支援教育科学専攻	2		5	-			10	修士 (教育学)	0. 60	昭和54年原	同上		
養護教育専攻	2		3	-			6	修士 (教育学)	0. 83	平成5年月	同上		
学校教育臨床専攻	2		8	-			16	修士	1. 43	平成12年原	同上		
国語教育専攻	2		5	-			10	修士	1. 10	昭和58年原	同上		
英語教育専攻	2		4	-			8	修士	0. 62	昭和55年原	同上		
社会教育専攻	2		9	-			18	修士 (教育学)	1. 00	昭和53年原	同上		
数学教育専攻	2		7	-			14	修士 (教育学)	0. 71	昭和53年原	同上		
理科教育専攻	2		13	-			26	修士 (教育学)	1. 00	昭和53年原	同上		
芸術教育専攻	2		14	-			28	修士 ^(教育学)	0. 85	昭和53年原	同上		
保健体育専攻	2		6	-			12	修士	1. 00	昭和53年原	同上		
家政教育専攻	2		3	-			6	修士 (教育学)	0. 16	昭和54年原	同上		
技術教育専攻	2		3	-			6	修士 ^(教育学)	0. 66	昭和57年月	同上		
大学院教育学研究科征	後期3年	₣博士	課和	呈									
共同教科開発学専攻	3		4	-			12	博士	1. 16	平成24年月	要知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1 番地		
大学院教育実践研究和													
教職実践専攻	2		50				100	教職修士 (専門職)	1. 01	平成20年月	要知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1 番地		

- ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
- ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
- ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
- ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の 平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、<u>入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、</u> 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<教育学部 教育支援専門職養成課程>

(1)一① 担当教員表

	_	担当教員表		_			_			
専任・	可時又	は届出時】	Г	【平月 専任・	ኒ 29	年度】		平月 壬·	戊30	年度】
乗担・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>		兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>		担 · 壬	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	L			担当授業科目名				担当授業科目名
専	教授	納谷昌宏 (平成29年4月> 教育支援と教育がパナンス 多文化理解 I コミュニケーション旗実習 教育がパナンス基礎演習 II 学校・自治体インターンシップ 数教育がパナンス演習 I 教育がパナンス演習 II 教育がパナンス演習 II		4种	教授	納谷昌宏 (平成29年4月) 教育支援と教育がパナンス 多文化理解 I コミュニケーション論実習 教育がパナンス基礎濃習 I 教育がパナンス基礎濃習 I 教育がパナンス演習 I 教育がパナンス演習 I	1	専	教授	(報答書宏 (本本) 《平成29年4月> 教育支援と教育ガバナンス 教育支援と教育ガバナンス 教育ガバナンス基礎演習Ⅱ
専	教授	松原信継 (マア成29年4月) 教育経営学教育支援と教育が、ナンス機論 学校コンフリクト論 対方が、ナンスとと議論 がけたフス基礎演習 II 学校・自治体インターンシップ教育が、オンスス選習 I 教育が、オンスス選習 I		専	教授	松原信継 《平成29年4月> 教育経営学 教育支援と教育がパナンス 教育がパナンス概論 学校コンフリクト論 コミュニケーション論実習 教育がパナンス基礎濃富 II 教育がパナンス基礎濃富 II 学校・自治体インターンシップ 教育がパナンスス演習 II				
			•				1	•	准教授	展開 治 (国語) 《平成30年4月> 教育経営学 実践教育事務論 教育ガパナンス概論 学校経営論 コミュニケーション施実習 教育ガパナンス基礎質習工 中校・自治体インターンシップ 評価 デバイナンス演習 I 教育ガパナンス演習 I 教育ガパナンス演習 I 教育ガパナンス演習 I 市民リテラシー
専	教授	相父江典人 《平成29年4月> 教育と人間関係論 医療心理学の理算等 心理体の理学概論 心理論は、実践領域実習 I 心理論は、理学等 教育路は心理漢字習 I 教育方と提心理演習 I 教育支援心理演習 I 教育支援心理演習 II		専	教授	祖父江典人 《平成29年4月〉 教育と人間関係論 医療心理学 心理面接実習 I 臨床心理学概論 臨床心理学概論域実習 I 心理臨床・実践領域実習 I 教育臨床心理學演習 I 教育支援心理演習 I 教育支援心理演習 I	1	專	教授	祖父江典人 (国国) 〈平成2年4月> 教育と人間関係論 健康・医療心理学 心理的アセスメントⅢ 心理実習Ⅱ 心理実習Ⅱ 公型の理解の職責
専	教授	小泉直 《平成29年4月> Intermediate English I Intermediate English II Advanced English II Advanced English II コミュニケーション論業習 教育ガバナンス基礎演習 II 要な自然インスス選習 II 教育ガバナンス演習 II 英語コミュニケーションII		争	教授	小泉直 (平成29年4月> Intermediate English I Intermediate English II Advanced English II Advanced English II コミュニケーション論実習 教育ガバナンス基礎演習 I 教育ガバナンス表演習 I 教育ガバナンス演習 I 英語 I 英語 I 英語コミュニケーションII 多文化リテラシー	3	専	教授	小泉直 (型面) 《平成29年4月> Intermediate English I Advanced English I Advanced English II 学校・自治体インターンシップ 教育ガバナンス演習 I 教育ガバナンス演習 I 英語 I 英語コミュニケーションII 多文化リテラシー

専任・			専任・		1	専任・		
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
專	教授	下村美刈 (1000年4月> 教育支援と心理 心と身体 パーソナリティ論 心理検査実習Ⅱ 臨床心理学概論 心理臨床・実践領域実習Ⅱ 教育臨路床心理学演習Ⅱ 教育直路床心理学演習Ⅱ 教育支援心理漢漢習Ⅱ 教育支援心理演習Ⅱ	専	教授	下村美刈 《平成29年4月> 教育支援と心理 心と身体 パーソナリティ論 心理検査実習 I 臨床心理学概領域実習 I 心理臨床・実践領域実習 I 教育商臨床心理学演習 I 教育支援心理演習 I 教育支援心理演習 I 教育支援心理演習 I	専	教授	下村美別 (国国語) 《平成29年4月> 教育支援と心理 心と身体 感情・人格心理学 心理的アセスメントII 心理実習I 心理演習 取 教育方援心心理演習 I 物年次演習 I 初年次演習 I 心と身体の理解
専	教授	ロビンズ・アントニー・ チャールズ (専	教授	ロビンズ・アントニー・ チャールズ(マ	専	教授	ロビンズ・アントニー・ チャールズ(
専	教授	大相恵 (平成29年4月> 生涯学習概論 教育支援と教育がパナンス 教育法学概論 自治体子ども施策論 NPOと学校 コミュニケーション論実習 収 教育がパナンス基礎演習 I 教育がパナンス 決置 I 教育がパナンス 演習 I	専	教授	大村恵 (工庫) (工庫) (工庫) (工庫) (工庫) (工庫) (工庫) (工庫)	専	教授	大村惠 (上面) (平成29年4月> 生涯学習概論 教育支援と教育がパナンス 自治体子ども施策論 NPOと学校 教育がパナンス基礎演習 I 学校・自治体インターンシップ 教育がパナンス演習 I
専	教授	尾崎俊介 (専	教授	尾崎俊介 (専	教授	尾崎俊介 (
専	教授	議議事前 (東華市 (東藤市) (平成29年4月) 教育支援と心理 児童思春期の心理 教育臨床学習Ⅱ 臨床・実践領域実習Ⅱ 心理臨床・実践領域実習Ⅱ 教育臨床心理学演習Ⅰ 教育臨床心理学演習Ⅱ 教育支援心理演演習Ⅱ 教育支援心理演習Ⅱ	専	教授	廣瀬幸市 (平成29年4月> 教育支援と心理 児童思春期の心理 教育随床学 心理師接実習 II 固球中型学概論 心理結床・実践領域実習 I の理結床・実践領域実習 I 教育臨床心理学演習 I 教育直床心理漢演習 I 教育支援心理演習 I 教育支援心理演習 I	専	教授	振瀬幸市 「無面」 〈平成29年4月> 教育支援と心理 心理学的支援法 I 心理外アスメントⅢ 臨床中理学標論 心理実習 I 教育支援心理演習 I 教育支援心理演習 I 教育支援心理演習 I 教育支援心理演習 I

専任・			専任・			専任・		
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) < 就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 担当授業科目名
中	教授	工島徹郎 (本学校)	専	教授	江島徹郎 《平成29年4月> 教育支援と教育がパナンス 教育情報化概論 教育情報システム論 コミュニケーション論実習 取 教育がパナンス基礎演習 I 教育がパナンス基礎演習 I 教育がパナンス演習 I 教育がパナンス演習 I	専	教授	工島徹郎 《平成29年4月> 然育支援と教育がパナンス 教育情報・化概論 教育情報・システム論 然育がパナンス基礎演習 I 学校・自治体インターンシップ 教育がパナンス演習 I 教育がパナンス演習 I
専	教授	中筋由紀子 (平成29年4月> 社会学概論 社会学概論 な学調査議論 コミュニケナション論実習 数 前が、ナンス基礎演習 I 教育 ガバナンス 英俊 南 ゴ が サンス演習 I 学教育 ガバナンス演習 I ア	専	教授	中筋由紀子 《平成29年4月> 社会学概論 社会調査論 家族支援論 コミュニケーション論実習 ま 教育ガバナンス基礎演習 I 教育ガバナンス演習 I 教育ガバナンス演習 I 教育ガバナンス演習 I	専	教授	中筋由紀子 (平成29年4月> 社会学概論 社会調査論 家族支援論 コミュニケーション論実習 教育ガバナンス基礎演習 I 教育がパナンス演習 I 教育がパナンス演習 I 教育がパナンス演習 I
専	教授	野崎浩成 《平成29年4月》 学校事務情報論 コンは実習教育がイナンス基礎演習 教育がイナンス基礎演習 教育がイナンス連環習 教育がイナンス演習 I 教育がイナンス演習 I	車守	教授	野崎浩成 (平成29年4月>学校事務情報論 コミュニケーション論実習 教育がパナンス基礎演習 I 教育がパナンス基礎演習 I 教育がパナンス演習 I 教育がパナンス演習 II 教育がパナンス演習 II	一十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	教授	野崎浩成 (単元29年4月>学校事務情報論 教育之理学教育教育・理学教育がパナンス教育がパナンス議で選問 学校・自治はインターンシップ教育がパナンス演習 I 教育がパナンス演習 I
専	准教授	フレス、アントワーヌ (重報) マ甲成29年4月> 多文化理解 I コミュニケーション論実習 教育がパナンス基礎演習 I 教育がパナンス連環習 I 教育がパナンス演習 I 教育がパナンス演習 I	専	准教授	フレス. アントワーヌ (1980) 《平成29年4月> 多文化理解 I コミュニケーション論実習 教育がパナンス基礎演習 I 教育がパナンス基礎演習 I 学校・自治体インターンシップ 教育ガパナンス演習 I			
専	准教授		專	准教授		専	教授	
専	准教授	堀内真由美 (本国の) (本国の	専	准教授	堀内真由美 《平成29年4月> ジェンダー史入門 現代社会論 異文化理解のための現代史 コミュニケーション論実習 教育ガバナンス基礎演習 I 教育ガバナンス基礎演習 I 教育ガバナンス演習 I 教育 ガバナンス演習 I	曹子	准教授	堀内真由美 (東京都) 《平成29年4月> ジェンダー史入門 現代社会論 異文化理解のための現代史 コミュニケーション論実習 教育ガバナンス基礎演習 I 学校・自治体インターンシップ 教育ガバナンス演習 I 教育ガバナンス演習 I

士に		1	+ <i>I</i> 7	1		士に		1
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
冊	准教授	マイヤー、オリバー ルードビッヒ (単一)	専	教授	マイヤー、オリバー ルードビッヒ (1月) マア成29年 4月) 教育支援と教育がパナンス 多文化理解 I コミュニケーション論実習 教育がパナンス基礎演習 I 教育がパナンス基礎演習 I 学校・自治体インターンシップ 教育がパナンス演習 I 教育がパナンス演習 I	専	教授	マイヤー、オリバー ルードビッセ (平成29年4月) 教育支援と教育がバナンス 多文化理解 I コミュニケーション論実習 Intermediate English I 学校・自治はインターンシップ 教育がパナンス演習 I 教育がパナンス演習 I
専	准教授	佐野真紀 (平成29年4月> ソーシャルワーク総論 I ソーシャルワーク総論 I ソーシャルワーク表習 I ソーシャルワーク表習相等 I ソーシャルワーク表習相等 I 社会福祉実 部 教育支援人材福祉特論 I 教育支援人材福祉特論 I 初年次演習	専	准教授	佐野真紀 《平成29年4月> ソーシャルワーク総論 I ソーシャルワーク総論 I ソーシャルワーク演習 I ソーシャルワーク実習指導 I ソーシャルワーク実習指導 I オージー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	専	准教授	佐野真紀 (「国報報」 《平成29年4月> ソーシャルワーク総論 I ソーシャルワーク機論 I ソーシャルワーク演習 I ソーシャルワーク実習指導 I ソーシャルワーク実習指導 I ソーシャルワーク実習指導 I 社会福祉実習 教育支援人材福祉特論 II 教育支援人材福祉特論 I 教育支援人材福祉特論 I 初年次演習
専	准教授	川北稔 (本本) (本本) (本本) (本本) (本本) (本本) (本本) (本本	専	准教授	川北徳 《平成29年4月> 教育学概論 コミュニケーション論実習 教育がパナンス基礎演習 I 教育がパナンス機関 I 学校・自治体インターンシップ 教育がパナンス演習 I 教育がパナンス演習 I	専	准教授	川北徳 (東西) 《平成29年4月> 教育学概論 学校・自治はインターンシップ 教育ガバナンス演習 I 教育ガバナンス演習 I
4种	准教授	中山弘之 (平成29年4月> 教育原理 コミュニケーション領実習 教育ガバナンス基礎演習 I 教育ガバナンス決定 教育ガバナンス演習 I 教育ガバナンス演習 I 教育ガバナンス演習 I	専	准教授	中山弘之 (平成29年4月) 教育原理 コミュニケーション論実習 教育がけンス基礎演習 I 教育がけンス基礎演習 I 教育がパナンス決定 学校・自治体インターンジ 教育がパナンス演習 I 教育がパナンス演習 I	幸	准教授	中山弘之 (国金) 《平成29年4月> 教育原理 学校・自治体インターンシップ 教育がパナンス演習 I 教育がナンス演習 I
専	准教	三谷聖也 三谷聖也 三谷聖也 三帝聖也 三帝聖也 三帝聖也 三帝聖の 三帝聖の 三帝聖の 三帝聖の 三帝聖の 三帝聖の 三帝聖の 三帝聖の	専	准教授	三谷聖也 《平成29年4月〉 学校と家族 チーム支援論 地域と家族 の理除在 実践領域実習 I 臨床・実践領域実習 I 教育語 床・理学演習 I 教育 支援・促理 理学演習 I 教育 支援・収理 実習 I 教育 大援・収理 実習 I 教育 大援・収理 実習 I	專	准教授	三谷聖也 (平成29年4月> 学校と家族 社会・集団・家族・理学 ・ 地理実習 I ・ 地理実習 I ・ 地理実習 I ・ 地理演習 I ・ 地理演習 I ・ 地理演習 I ・ 教育 支援・ 地理演習 I ・ 教育・ 学校・ 理学演習 I ・ ・ 神校・ 理学 I ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
専	准教授	岩満賢次 《平成29年4月> 地域福祉論 社会保障論 I 社会保障論 I 福祉行財政と福祉計画 ソーシャルワーク実習指導 I ソーシャルワーク実習指導 I 教育支援人材福祉特論 I 教育支援人材福祉特論 I 教育支援人材福祉特論 I	専	准教授	岩満賢次 《平成29年4月> 地域福祉論 社会保障論 I 社会保障論 I 福祉行財政と福祉計画 ソーシャルワーク実習指導 I ソーシャルワーク実習指導 I 対会福祉失習 教育支援人材福祉特論 I 教育支援人材福祉特論 I			

					,			
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
						*	教授	川島ゆり子 《平成30年4月> 地域福祉館 社会福祉原館 I 社会福祉原館 I コミュニティワーク福祉運営管理館 ソーシャルワーク表習情報 I ソーシャルワーク表習情報 I 社会福祉実習 教育支援人材福祉特館 I 教育支援人材福祉特額 I
専	講師	上田琢載 (マ東皮9年4月) 心理学概論 カウンセリング心理学 教育支援人材福祉特論 コカウンセリングの・ コ教育支援人材福祉特論 田教育支援人材福祉特論 田表リテラシー	專	講師	上田琢散 《平成29年4月> 心理学概論 カウンセリング心理学 教育相談論 スクールソーシャルワーク実習 スクールソーシャルフーク実習 カウンセリング心理学 教育支援人材福祉特論 II 教育支援人材福祉特論 II 教育支援人材福祉特論 II 教育支援人材高小時 II			
専	講師	高橋靖子	專	講師	高橋靖子 《平成29年4月》 心理学概論 健康心理学概論 心理学概論 心理等概論 心理端床・実践領域実習 I 教育臨床心理学演習 I 教育直路床心理学演習 I 教育支援心理演習 I	専	准教授	高橋靖子 《平成29年4月》 心理実習 I 心理実習 I 心理演習 版育 支援心地理演習 I 教育 支援心地理演習 I 教育 支持支援心 製工 教育 大學 大心理學 I 心理 学校心理学 I 心理 / 文學 / 文
専	講師	原日宗忠 (1994年4月> 生涯発連心理学 青年記見(者)心理学子どもの心理療法 臨床に理学概論 心理臨床・実践領域実習 I 心歌商臨床・実心理学演習 I 教育直支援心理理演演習 I 教育支援心理漢演習 I	専	講節	原田宗忠 《平成29年4月> 生涯発達心学 青年心理学 青年心理学 時書児(者)心理学 子どもの心理学 既庶心理学概論 地理論底・実践領域実習 I 砂理論底・実践領域実習 I 教育育 支援心理違演習 I 教育支援心理違演習 I 教育 支援心理違演習 I	書守	講師	原田宗忠 (国 20年4月> 発達心理学 I 発達心理学 I 発達心理学 I 心理学的支援法 II 心理実習 I 教育 百丈提心心理漢習 I 教育方支援心で理演習 I 教刊 方で表述しています。 教刊 方で表述しています。 物 可でセスメントII 初年次演習
専	講師	西尾圭一郎 《平成29年4月> 経済学概論 国際経済学 経済学版論 国際経済学 経済政策論 金融融等 演習 I 経済学のである。 を表演学演習 I コミュニケーション論実習 I カバナンス基礎演習 I 対がナンス基礎演習 I 対がオンス表で I 対称方がイナンス演習 I 教育ガバナンス演習 I 教育ガバナンス演習 I	専	講師	西尾圭一郎 《甲成29年4月> 経済学概論 国際経済学 経済改策論 金融経済教育論 金融経済教育論 金融経済教育論 省別の第一次の第一次の第一次の第一次の第一次の第一次の第一次の第一次の第一次の第一次	専	准教授	西尾圭一郎 (1980年4月> 経済学概論 国際経済学 経済改策論 金融経済教育論 金融論 解経済学演習 I 経済学演習 I 教育ガバナンス基礎演習 I 教育ガバナンス連習 I 教育ガバナンス演習 I

						兼担	准教授	機構寛子 (() () () () () () () () () (
						兼担	教授	清田雄治 (国国) 〈平成29年4月〉 子ども法入門
						兼担	教授	田中清美 (
			兼担	准教授	伊藤俊一 (国国) 《平成29年4月》 心理学統計法 心理学研究法	兼担	准教授	伊藤俊一 (国国) 《平成29年4月》 心理学統計法 心理学研究法 学習言語心理学 I
		10千公原目				*	助教	無川夏乃 (画面) 《平成29年7月> 心理学業論 心理学実験 I 心理学実験 I 心理学実験 I 心理学実験 I 心理実習 I 教育協床心理学演習 I 教育支援心理演習 I 整知行動療法論 カウンセリング心理学 初年次演習
専	助教	大塚英理子 (東西の) (平成29年4月> 子ども法入門 法学概論 子ども法 I 少年法演習 I 少年法演習 II コミュニケーション論実習 教育がパナンス基礎濃習 II 教育がパナンス基礎濃潔 II 教育がパナンス表礎濃潔 II 教育がパナンス演習 II 教育がパナンス演習 II 初年次演習 II	專	助教	大塚英理子 《平成29年4月> 教育支援と福祉 教育支援と福祉 教育支援と福祉 教育支援と福祉 教育支援と福祉 教育支援と福祉 教育支援と福祉 の中法演習 I の中述の表演習 I の一本表述演習 I の一本表述演習 I の一本表述演習 I の一本表述演習 I の一本表述	専	助教	大塚英理子 《平成29年4月> 『東京皇と教育がパナンス 子ども法入門 司法権制 法学概論 子ども法「別 コミュニケーション論実習 I 少年法演習 I 少年は演習 I 学校・自治体インターンシップ 教育ガバナンス 漢習 I 教育ガバナンス 演習 I 教育 がけている スプロール・アンス 演習 I 教育がパナンス 演習 I 教育がパナンス 演習 I 初年次演習 I
専	助教	福田泰久 (マ死及9年4月> Intermediate English I Intermediate English II Advanced English II コミュニケーション論実習 教育ガバナンス基礎演習 I 教育ガバナンス表で選習 I 教育ガバナンス演習 II	専	鉄師	福田泰久 《平成29年4月> Intermediate English I Intermediate English I Advanced English II スポーツ・コン論実習教育が、ナンス基礎演習 I 教育が、ナンス基礎演習 I 教育が、ナンス、演習 I 教育が、ナンス、演習 I 教育が、ナンス、演習 I 教育が、ナンス、演習 I 教育が、ナンス、演習 I 英語 I 英語 I 英語コミュニケーション I	専	講師	福田泰久 《平成29年4月> Intermediate English II Advanced English II Advanced English II を表現します。 を表現しまする。 を表現しまするる。 を表現しまするる。 を表現しまする。 を表現しまするる。 を表現しまする。 を表現しまする。 を表現まする。 を表現まする。 を表現まする。 を表現まする。 を表現まする。 を表現まるる。 を表現まるる。 を
争	講師	厨子健一 (国金) 《平成29年4月> 教育支援と福祉 ソーシャルワーク演習Ⅲ スクールソーシャルワーク演習 スクールソーシャルワーク演習 スクールソーシャルワーク実習 スクールソーク 実習指導 I ソーシャルワーク実習指導 I ソーシャルワーク実習指導 I 社会福祉失論 I 教育支援人村福祉特論 I 教育支援人村福祉	専	講師	厨子健一(国際) (中国) (中国) (中国) (中国) (中国) (中国) (中国) (中国	専	講師	野子健一 (工) (工) (工) (工) (工) (工) (工) (工) (工) (工)
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 担当授業科目名

専任・ 兼担・ 兼任		氏 名 (年 齢)	専任・ 兼担・ 兼任		氏 名 (年 齢)	専任・ 兼担・ 兼任		氏 名 (年 齢)
兼仕の別	職名	<就任(予定)年月> 担当授業科目名	衆仕の別	職名	<就任(予定)年月> 担当授業科目名	衆仕の別	職名	<就任(予定)年月> 担当授業科目名
						兼担	准教授	高橋岳之 (
								情報はシリティと情報モラル 齋藤ひとみ
						兼担	推教授	((() () () () () () () () ()
						兼担	教授	田中生雅 (() () () () () () () () () (
								人体の構造と機能及び疾病 田中優司 (()
						兼担	教授	<平成29年4月> 精神疾患とその治療 高網睦美
						兼担	講師	(▼
								キャリア発達論 青嶋敏
						兼担	特別 教授	(国語) <平成29年4月> 権利擁護と成年後見
						兼担	教授	中西宏文 (
			\parallel					教育情報リテラシー 片山悠樹
						兼担	推教授	<平成30年4月> 教育経営学
						兼任	講師	安藤直樹 (
								心理学概論 福岡知晴 ()
						兼任	講師	<平成30年4月> 精神保健論 カウンセリング心理学
								細井晴代 (■■■) <平成30年4月>
						兼任	講師	医学療論介護療論
								関谷 みのぶ (国面) <平成30年4月>
						兼任	講師	公的扶助論 社会保障論 I
			\parallel					社会保障論 II 高梨未紀 (■■■)
						兼任	講師	<平成30年4月> 高齢者福祉論 高木誠一
						兼任	講師	(■■■) <平成30年4月> 就労支援論
						兼任	講師	安藤久美子 (() () () () () () () () () (
						-		福祉心理論 川崖真知
						兼任	講師	(本本)
						兼任	講師	伊藤健治 (国国) <平成30年4月>
			-					教育法学概論 田渕宗孝 (1888)
						兼任	講師	《平成30年4月》 政治学概論
						兼任	講師	片山和希 (() () () () () () () () () (
								財政学概論 安藤信明 (基本)
						兼任	講師	〈平成30年4月〉 学校コンフリクト演習 教育メディエーター演習
								田中圭子 (
						兼任	講師	マード (中成30年4月) 学校コンフリクト演習 教育メディエーター演習
	·		· —	1	1			,

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**程可貯又は周出時から変更となっている箇所は太宇の赤宇としてください。** ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の道年齢**を記入してください。
 ・ 専任、兼担、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

【平成29年度】

・マイヤーオリバールードビッヒ准教授が平成29年4月1日付けで教授に昇進。 ・福田泰久助教が平成29年4月1日付けで講師に昇進。

【平成30年度】

- 【平成30年度】

 ・松原信継教授が平成30年3月31日付け定年退職。
 ・風間治准教授を平成30年4月1日付けで採用。
 ・フレスアントワーヌ准教授が平成30年3月31日付け定年退職。
 ・カルタントワーヌ准教授が平成30年3月31日付け定年退職。
 ・ 岩満賢次准教授が平成30年4月1日付けで採月。
 ・ 岩満賢次准教授が平成29年9月30日付けで自己都合(他大学への採用)による退職。
 ・ 川島ゆリ子教授と平成30年4月1日付けで採用。
 ・ 上田塚哉准教授が平成30年4月1日付けで排角。
 ・ 高橋靖子講師が平成30年4月1日付けで准教授に昇進。
 ・ 高橋靖子講師が平成30年4月1日付けで准教授に昇進。
 ・ 元星圭ーの講講師が平成30年4月1日付けで採用。
 ・ 元程圭ーの講講師が平成30年4月1日付けで採用。
 ・ 平成30年欄に記載で、就任年月日が平成29年4月と記載のある兼担教員については、届出がされていなかったため追記。
- (注)・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の享任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに享任教員として授業等を担当することは出来ません。
 - 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略 となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
9	5
名	名

(注)・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

	ā	役置時の計画	■		現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	
12	9	5	2	28	14	8	3	2	27	14	8	3	3	28	
(12)	(9)	(5)	(2)	(28)						[2]	[△1]	[Δ2]	[1]	[Δ1]	

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。 ・「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。 ・「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、「現在(報告書提出時)の状況」に記入した数字に、数員書室を受害済みであり、 完成年度までに就任する教員数を加えた数を配入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

(2) - ③ 年齢構成

	年齡構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
63	1	2
歳	名	名

- (注) 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。 なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

 - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

<u>現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)</u> = <u>28</u> = 設置時の計画(A) = 28

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告書提出時)の状況における定年を延長している教員構成率

<u>報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数</u> = 1 現在(報告書提出時)の状況(B) = 3.7

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充	状況		就任	£辞退	(未就	任)の理	±		
										_							
-					<u> </u>			_		-							
						該	当無し	_		_							
				合計	(D)					後	经任補充状況	の集計	(E)				
	京	尤任 ?	を辞	退した教員数	担当科目数の合言	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	数(a)	②の合計	十数(b)	③の合	計数	ţ (c))
					必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	÷	0	科目
					選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択		0	科目
			0	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由		0	科目
					計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	i	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教	員氏名	必修・選択・自由の別	担当予	定科目	後任補充	状況			辞任	E等の	理由		
				選択	地域社	冨祉論	1								
				選択	社会保	:障論 I	2								
				選択	社会保	:障論Ⅱ	2								
				選択	福祉行財政	と福祉計画	2								
1	准教授	出 ;#	腎次	選択	ソーシャルワ-	ーク実習指導 I	1		มวก	10 2044 = =	Lata	(lih -l-	学に採用)によ	112017	(20)
'	准叙按	石凋	貝火	選択	ソーシャルワ-	ーク実習指導Ⅱ	1		пои	1. 9. 3019 17 一身	上の郁石	(他人	子に休用川によ	り計正	(30)
				選択	社会福	祉実習	1								
				選択	教育支援人	材福祉特論 I	1								
				選択	教育支援人	材福祉特論Ⅱ	1								
				選択	教育支援人	材福祉特論Ⅲ	1								
				必修	心理	学概論	2								
				選択	カウンセリ	ング心理学	1								
				選択	教育	1談論	3								
				選択	スクールソーシ	・ャルワーク実習	1								
				選択	スクールソソーシ	ャルワーク実習指導	1								
2	講師	上田	琢哉	選択	カウンセリン	グ心理学演習	2		H30), 3, 31付け一身	上の都合	(他大	学に採用)によ	り辞任	(30)
				選択	コミュニ	ティ心理学	2								
				選択	教育支援人	材福祉特論 I	1								
				選択	教育支援人	材福祉特論Ⅱ	1								
				選択	教育支援人	材福祉特論Ⅲ	1								
				選択	市民リー	テラシー	1								
													_		
				(F)					-	经任補充状況					
	辞任し	した教員数	<u>女</u>	担当科目数の合詞	† (a) + (b) + (c)	①の合計	数 (a)		②の合計	十数 (b)		③の合計	数(c)
				必修	1	科目	必修	0	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
	_			選択	20	科目	選択	14	科目	選択	5	科目	選択	1	科目
	2		人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				計	21	科目	計	14	科目	計	6	科目	計	1	科目
				HI.	-'		HI		1-7 [2]	н	·	1411	ы	•	141

- (注)・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -3 上記(3) -1 ・ (3) -2 の合計

	合計(D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教	辞任等した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合				③の合計	·計数 (c)		
		必修	1	科目	必修	0 科目	必修	1 科目	必修	0 科目		
		選択	20	科目	選択	14 科目	選択	5 科目	選択	1 科目		
2	, ,	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	21	科目	計	14 科目	計	6 科目	計	1 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F)	_	2	_	714	04
(2)-②設置時の計画(A)	_	28	_	7.14	%

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科	目	後任補充	状況			舌	锌任等σ.	理由			
			必修	教育経営	学	1									
			必修	教育支援と教育ガバ	(ナンス	1									
			選択	教育ガバナンス	ス概論	1									
			選択	学校コンフリク	7ト論	2									
1	教授	松原 信継	選択	コミュニケーション	倫実習	1			H20 2	21/+1-	+62 <u></u> 华 7	定年退職	(20	١	
'	我按	位原 信祉	必修	教育ガバナンス基礎	演習 I	1			1130. 3.	ا زوا ا د	703成(上十匹眼	(30	,	
			必修	教育ガバナンス基礎	演習Ⅱ	1									
			選択	学校・自治体インター	ンシップ	1									
			選択	教育ガバナンス	演習 I	1									
			選択	教育ガバナンス	演習Ⅱ	1									
			選択	多文化理解	l I	1									
			選択	コミュニケーション	倫実習	1									
			必修	教育ガバナンス基礎	演習I	1									
2	准教授	フレス、アントワーヌ	必修	教育ガバナンス基礎	演習Ⅱ	1			H30. 3.	31付(ナ63歳で	『定年退職	(30)	
			選択	学校・自治体インター	ンシップ	1									
			選択	教育ガバナンス	演習 I	1									
			選択	教育ガバナンス	演習Ⅱ	1									
			L 計						後任補充	(十二)	の佳計				
	エウノエ	した教員数	^{3 副} 担当科目数の合言	+ (a) + (b) +	(0)	① // / /	L*h (a)	1	②の合			200	-=⊥ #/	7 (0)	
	計1士	しに叙貝奴				①の合計		_	0 . [③の合	1 市「安		_
			必修	1	目	必修	6	科目	必修	0			÷	0	科目
	2	人	選択		目	選択	10	科目	選択	1	科目		<u>:</u>	0	科目
	2	^	自由	0 \科	目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	1	0	科目
			計	17 科	目	計	_ 16	科目	計	1	科目	計		0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (3) -②番号1の教員に関しては、教員の一身上の都合による退職であったが、後任補充の募集を行い既に平成30年4月1日付けで教授1名を採用し、退職教員が担当予定であった科目についてすべて後任の専任教員または兼任教員が授業開講することが決定しており、学生の教育上の影響は生じないと判断した。
- 生の教育上の影響は生しないと判断した。
 (3)-②番号2の教員に関しては、教員の一身上の都合による退職であったため、福祉コースを主に担当できる専任教員を平成30年10月1日採用予定にて公募を行っている。退職教員が担当予定であった科目については、一部後任未定ではあるが学生の教育上の影響を生じないよう未着任である期間を長引かせないよう努めている。
 (3)-⑤番号1の教員に関しては、定年による退職であったため、既に平成30年4月1日付けで准教授1名を採用し、退職教員が担当予定であった科目についてすべて後任の専任教員、兼担教員または兼任教員が授業開講することが決定しており、学生の教育上の影響は生
- がないと判断した。 (3) -⑤番号2の教員に関しては、設置当初より定年退職が予定されており、担当予定であった科目についてすべて複数の専任教員が担当する科目となっており、後任補充をしなくても学生の教育上の影響は生じないと判断した。 専任教員の交代については、学生には学期毎のガイダンスや時間割にて周知している。
- (注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を 記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区分	留 意 事 項	等 履行	状 況 未履行事項について の実施計画
設置時(〇〇年〇〇月)			
設置計画履行状況 調 査 時		該当無し	
設置計画履行状況 調 査 時 (口口年2月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)			

- (注)・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(<u>学校法人の</u> <u>寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等 について、具体的に記入し、<u>報告年度を()書き</u>で付記してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<教育学部 教育支援専門職養成課程>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 卒業要件単位及び履修方法	①卒業要件単位及び履修方法
共通科目は必修科目を含み29単位以上、専門教育科目は必修科目を含み82単位以上修得し、合計128単位以上を修得する。 《共通科目》 教養科目 日本国憲法 「特報教育入門 外国語科目 スポーツ科目 (専門教育科目) 課程内共通科目 各コース専攻科目 (心理コース (福祉コース (教育が が ナンスース 卒業研究 《自由科目》	共通和目は必修科目を含み31単位以上、専門教育科目は必修科目を含み82単位以上修得し、合計128単位以上を修得する。《共通科目》数養科目 日本国憲法 2単位(必修4単位) 特報教育入門 2単位(必修4単位) 外国語科目 6単位(必修4単位) 独専門教育科目) 課程内共通科目 各コース専攻科目 22単位(必修6単位) (心理コース 必修 8単位 選択42単位) (・心理コース 必修 8単位 選択42単位 合計50単位) (・(報社コース 必修 9単位 選択41単位 合計50単位) で業研究 (教育)が17カスコース 必修 9単位 選択41単位 合計50単位) 本業研究 (も計50単位) で業研究 (も計50単位) ・・中川教育充実のため、教養科目に必修科目(2科目・2単位)を追加し、これにより、卒業要件の共通科目の単位数を必修科目を含み31単位以上とし自由科目を15単位としたため。(比29) ・公認心理師科目対応のための科目の変更により、卒業要件の専攻科目について心理コースの内訳を必修8単位、選択42単位の合計50単位としたため。(比29)

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

愛知教育大学教職キャリアセンター キャリア開発領域 FD部門 (別添1 愛知教育大学教職キャリアセンター規程 参照)

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

平成29年度3回の委員会を開催(委員22名)

第1回目(平成29年7月31日開催)出席者18名

第2回目(平成29年10月20日開催)出席者15名

第3回目(平成30年2月22日開催)出席者18名

c 委員会の審議事項等

教員の教育活動の支援 (FD) に関する事項

- ② 実施状況
 - a 実施内容
 - 1. 全学FD講演会及び集会の開催
 - 2. 新規採用教員FD研修
 - 3. 授業公開
 - 4. 授業改善アンケート
 - 5. 同一名称科目間の成績分布報告
 - b 実施方法
 - 1. 学外者による講演や教員による実践発表を行った。
 - 2. 新採用教員に対して、附属学校、公立学校を訪問し、授業参観後に教員と意見交換を行った。
 - 3. 前期と後期の2回、授業公開週間を設け、授業公開を実施し、授業後に事後検討会を行った。
 - 4. 共通科目について授業改善アンケートを実施した。結果を元に、教員による自己評価を行った。
 - 5. FD部門担当教員が集計し、教務企画委員会、時間割編成専門委員会で周知した。
 - c 開催状況(教員の参加状況含む)

(別添2 平成29年度愛知教育大学FD活動報告書参照)

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学校現場経験のない新任教員について、学校訪問、意見交換の実施により、実際の学校現場を意識したチーム学校と しての授業実施に繋げることとしている。 授業アンケートについては全体集計を行うとともに、教員に結果を返却し自己評価書を提出させることにより授業の

改善に生かしている。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期

前期期末と後期期末の2回実施した。

b 教員や学生への公開状況, 方法等

教職キャリアセンターFD部門のホームページで公開している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照) ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

教育支援専門職養成課程は,心理・社会福祉・教育行政等の専門性を深め,教育活動と子どもたちを支援する専門職 の養成をめざすことを目的としている。その目的の達成のために,開講初年度である平成29年度については以下の取 組を実施し,概ね順調に進んでいると言える。今後も引き続き設置の趣旨・目的の実現を図りたい。

(新課程の周知)

平成29年5月27日に開設記念シンポジウムを開催し、教育関係者および本学への進学を考えている高校生等へ幅広 く新課程の周知を行った。

(カリキュラムの提供)

平成29年度については、当初設定した1年次の授業カリキュラムについて予定どおり開講した。また、平成30年度について、カリキュラムを一部変更をするものの公認心理師資格取得のためであり、目的に沿った授業カリキュラムの提供である。

(環境の整備)

SPSSのライセンスオプションの追加導入や心理実験器具の購入により、授業や研究に取り組む環境を整備した。また、大学全体の図書館にチーム学校コーナーを設置し、教員養成を主目的とする教員養成課程の学生と相互に理解を進めている。

- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表 (予定) 時期
 - 平成30年11月 公表予定
 - b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公開予定(平成30年11月を予定)
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・平成33年度までに認証評価を受けるべく、学内で検討中
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお, 「② 自己点検・評価報告書」については, 当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- (4) 情報公表に関する事項
- 〇 設置計画履行状況報告書
 - a ホームページに公表 (予定) の有無 (有) ・ 無)
 - b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期 (平成30年 4月)
- (注)・「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
 - ・ 「b 公表 (予定) 有の場合の公表 (予定) 時期」には、「a ホームページに公表 (予定) 有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。